

県銚ぼうさい探究！

千葉県立銚子高等学校

千葉県立銚子高等学校





千葉県立銚子高等学校



1 学期の実践



講義（3回実施）

- 防災×メディア

災害時におけるメディアとの向き合い方

- 防災×心理学（正常性バイアス）

何らかの異常事態が起きても、正常の範囲内であると思
い込もうとするはたらき。

- 防災×歴史（災害石碑）

過去の災害の記録が石碑として数多く残されている。

積層図の作製

- 土地の標高や地形の特徴を知る。
- 震災時の被害の状況や、現在の復興状況。
- 避難所の位置や避難経路の確認。

(ハザードマップとの比較)



積層図の作製



課題探究型学習 I

- 個人でテーマを設定。
- 過去の災害からどのように復興をとげてきたのか。
- これまでの課題と今後の展望。
- 復興を視野に入れた、災害への備え。防災。
- 夏季休業中に実施。



2 学期の実践



課題探究型学習Ⅱ

- 個人での探究学習の成果を共有し、**グループ**ごとに新たにテーマを設定する。
- ジオツアーとの関連。
- 様々な視点から、復興、防災、減災を考える。



ジオツアー

- 銚子の立地がどのように未来につながるか考える。
(防災や復興、まちづくりなど)
- 観光資源や文化財から学ぶ。
- フィールドワークを行うことで、課題探究のテーマの視野を広げる。



ジオツアー

～語り部ガイドさんから生きた市民の声をきく～



ジオツアー 1組〈屏風ヶ浦・名洗コース〉



ジオツアー 2組〈外川コース〉



ジオツアー 3組〈犬吠・君ヶ浜コース〉



ジオツアー 4組〈街中コース〉



ジオツアー ～生徒の感想～

- これまでの災害や戦災を乗り越えて、今の銚子があるということを認識する良い機会になった。
- 復興に向けての都市計画から、火災の延焼を防ぐなどの機能を考慮して、道幅の大きい道路ができるなど、将来の災害の被害を抑えられるような工夫を考えていることが重要だと感じた。
- 公園が多く設置されており、空気の浄化と人々の健康、また、災害発生時の一時避難場所の確保に繋げるといった考えが昔からあり、SDGsに関連した取組が、過去からすでにあったのだと気付いた。

津波想定避難訓練

- 例年実施していた地震と火災発生の避難に加え、津波の発生を想定した避難を盛り込んだ。



津波想定避難訓練

- 想定

午後の授業中に千葉県東方沖でM8の地震が発生。緊急地震速報の5秒後に本震がくる。震度6強。地震後、校舎内はガラス・天井からの落下物が飛散する。地震発生直後、特別棟1階から火災が発生。地震発生から25分後、津波警報が出される。

津波想定避難訓練

- 生徒の動き

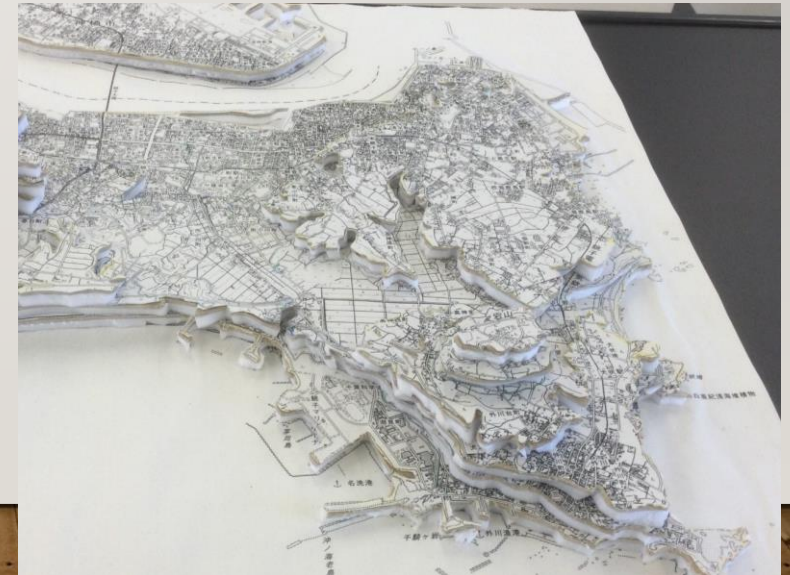
緊急地震速報〈室内待避（机の下）〉

→グラウンドへ避難（集合・点呼）

→津波発生→普通教室棟3・4階へ避難

津波想定避難訓練

- 講評後、各学級での振り返り。
- 積層図や国土地理院地図、ハザードマップから想定される津波被害のリスクと、今回の避難計画の妥当性について考える。
- ジオツアーの学習内容との関連。



津波想定避難訓練 ～生徒の感想～

- 県立銚子高校はインターネットで調べると海拔21メートルだったので4階と3階にいて大丈夫だと思う。ただ、とても大きい津波が来るかもしれないし、救助の時ヘリコプターなどで救助出来たりとメリットが多いと思うので屋上に柵を作って利用などした方がいいと思った。
- 津波がきたときを予想し、4階に逃げました。県銚は周辺よりも少し高い土地になっていて、その中でもさらに4階はとても高い場所なので、4階に避難することが出来れば安全だと思いました。移動教室の時など今日と違う場所にいた時でもどう行動したらいいかを考えたいと思います。また、先生方がいない時でも自分たちで考えて行動できるようにしていきたいです。実際に地震や津波が来た時は、今日の防災訓練のように行動できるようにしたいです。

県銚アカデミア

- 一年間の課題探究学習の総まとめ
- クラスの代表班による発表
- 1・2学年で、探究活動の成果を共有する。
- コロナ禍のため、各教室からオンラインで接続する形態に変更した。



1 年間の実践をととして

- ジオツアー等で実際に見たり、感じたりと体験的に学ぶ中で、防災につながる発見に喜びを感じていた。
- 探究型学習をととして、防災をはじめとする様々な課題について、今後も考えていくことが大切であると、多くの生徒が認識した。
- コロナ禍において、学びの充実度を向上させるためにオンライン等の手法を一層活用していくことが必要だと感じた。小中学生や地域住民へのプレゼンテーション、避難場所設置体験などを、オンライン等を活用して実施し、本校生徒の学びの充実及び発信力の向上を図っていく。